

稲城野草散策の会

野草スケッチ アズマネザサ／マダケ（イネ科）



2000/06/22 稲城市長峰／坂浜 絵と文 T a

突然、異質な画像で驚かせてしまったかもしれない。
これは線画のみのスケッチだ。
左がアズマネザサ、右がマダケである。

私のスケッチは、線画が命、と思っている。

線画は決して下書などではなく、線画自体で対象をしっかりと捉えていなければならない。

通常は色付けを行うのだが、この絵は線画だけで完成させる、という意図のもとに描いた。

彩色しない場合には、より細かいところまで描き込んだり、多少の陰影をつけている。

ペンは（株）トンボ鉛筆のプログラフという顔料インクペンである。

セラミック芯を用いてあり、0.1mmの極細線が引ける。

7～8年愛用していたが、製造中止のため、もう入手は不可能と文具屋さんに言われてしまった。

これに代わる性能のペンは、探しているが見当たらない。

メーカーに問い合わせたところ、要望が強いので製造再開を検討したが、金型等が使えないため、断念したという。

交渉して、補充用のインクだけはどうにか入手できたのが、せめてもの救いである。

アズマネザサは雑木林のやっかいものだ。

手入れのよい林でも放置しておくと、すぐにアズマネザサが生えてくる。

ことに、皆伐によって日当たりが良くなった林は、3年ほどでアズマネザサの藪に替わってしまう。

さらに数年経てば、人の背丈を越え、5m程度にまで伸びる。

こうなったらお手上げだ。

入ることもできないジャングルになる。

林の中だけでなく、山道にもどんどんタケノコが生えてくる。

アズマネザサのタケノコは食用にはならない。

噛んでみたことがあるが、固いし苦い。

タケ類を描いてみようと思ったのは、タケ・ササのことがよくわからないからである。

わからないときは、描いてみるのが一番だ。

多摩丘陵に自生しているタケ・ササ類はアズマネザサとヤダケくらいだが、栽培されているものはいろいろあって、知らないと困ることもある。

なお、タケはタケノコの皮が自然に取れるもの、ササはいつまでも残っているも

のを指す、という区別があるが、ここでは区別せずに「タケ・ササ」という表現を使った。

描くといっても、成体ではB6の用紙に収まるはずがなく、部分に限定しても、どこを捉えれば特徴を現せるのかわからない。

そこで、タケノコを描いてみることにした。

手始めにアズマネザサを描き、次いでちょうどシーズンだったのでマダケに挑戦した。

スケッチしていて不安だったのは、タケノコを描く意味があるのか、という点である。

「タケノコでの同定（種類を確定すること）は不可能です」といわれたら、絵としての面白さはあっても、植物的には無意味になってしまう。

タケノコを描いたのは今年からだ。

たまたま、6月に静岡県三島市にある「富士竹類植物園」を訪れる機会があった。

ここには500種のタケ・ササが植えてあるという。

案内してくれた係りの方にスケッチをお見せし、タケノコでの同定可否を訊ねた。

答えは、「可」とのこと。

ただし、期間が限定されるので、タケノコでの同定は普通行わない、タケノコの図鑑もおそらく無い、とのことであった。

だとすると、タケノコのスケッチを続けていけば、ユニークな「タケノコ図鑑」ができるかもしれない。

たわごとではあるが、そういった夢は持ちつづけたいと思う。

（2000年7月記）

* * * * *

〔観察記録〕 7月24日 林試の森公園

3日ぶりに30℃を超すという天気予報にも拘わらず、45人もの方々が武蔵小山駅に集合されました。

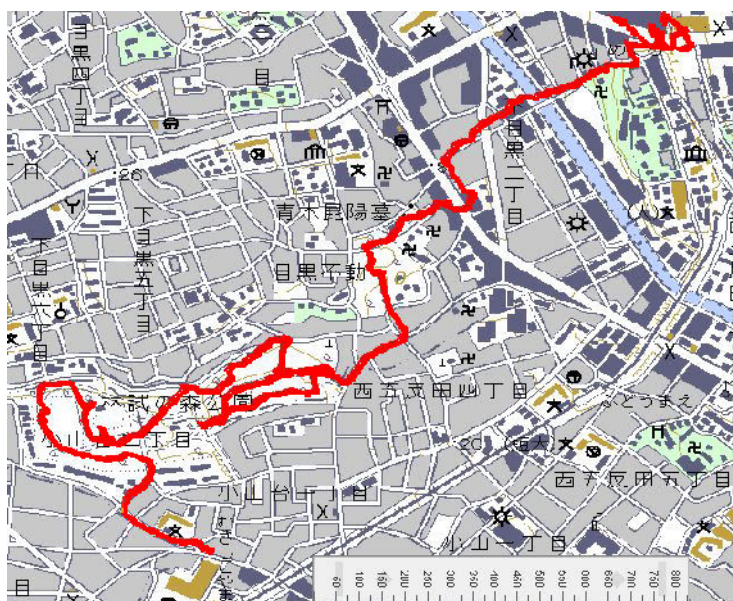
目蒲線が目黒線となって、地下鉄の三田線や南北線と相互乗り入れとなり、武蔵小山駅が地下駅になったために、駅前の様子は一変してしまいました。

駅から10分ほどで林試の森公園の南門に到着です。林試の森公園は、その名前が示すように、国の林業試験場跡地に作られた都立公園で、園内には「林業研

究発祥の地」という大きな石碑が建てられています。また、普通の公園では目にすることが出来ないような内外の珍しい樹種が植えられているのも大きな特徴です。敷地は東西に細長く広がっていて、敷地の北側には、今では緑道となっていますが、羅漢寺川という目黒川の支流が流れていたため、低地になっています。また、公園の真ん中あたりには、南から北の羅漢寺川へ小さな谷が形成されていて、その谷には池が作られ、せせらぎ橋という橋が架けられています。ラクウショウの森も、この谷にあります。

それほど大きな公園ではないので、午前中は公園の西側を、午後は主に北側と東側をくまなく歩くことになりました。園内は樹林のおかげで周辺の住宅地より気温が数度は低いように感じられ、体調を崩される方もいなかったようです。

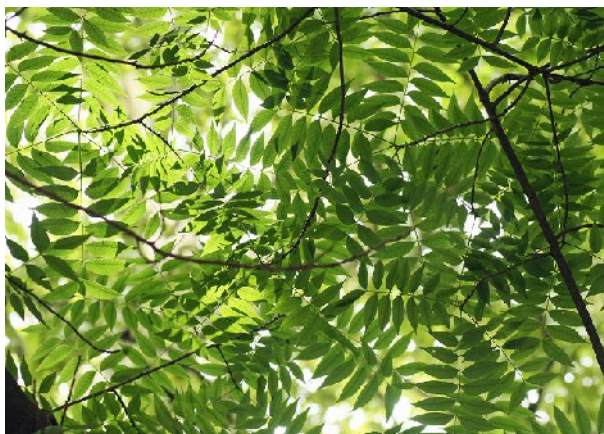
(とーはもん)



当日の GPS データ

▼観察記録（出現順）

ユリノキ、スダジイ、エンジュ、ヤブガラシ(花)、アオダモ、ケヤキ、アカガシ、ゲッケイジュ、トチノキ、ヤマブキ、シロダモ、フウ、ヤブミョウガ(花)、チチミザサ、アカメガシワ、ムクノキ、イイギリ、コナラ、ヤマグワ、シラカンバ、エノキ、クヌギ、ヒサカキ、アメリカトネリコ、アベマキ、



カキノキ by たざわさん

フサザクラ、ハナゾノツクバネウツギ、カツラ、三種のプラタナス、カキノキ、トウネズミモチ、オリーブ、ツククサ(花)、クサイチゴ、イヌタデ(花)、イチイガシ、ツクバネガシ、モクゲンジ、キチジョウソウ、ハナガガシ、クサギ、ヤブタバコ、イヌビワ、トチュウ、ヤマコウバシ、ナナミノキ、セイタン、ユサン、ヨコグラノキ、トサミズキ、アオギリ、ヤマアイ、リンボク、アメリカマメガキ、ケンポナシ、モクレイシ、ノグルミ

(生き物編)

当日の生き物の中からカッチョよさげなやつの主なもの...カブトムシ♂♀、ウスバカミキリ、ヨツスジトラカミキリ、カナブン、アオドウガネ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ(おっ!）、オオホシカメムシ、クサギカメムシ幼虫、アミガサハゴロモ、アゲハチョウ、アオスジアゲハ、アカボシゴマダラ、ヒメジャノメ?、ヤマトシジミ、オオミズアオ幼虫、ツマキシヤチホコ、オンブバッタ、アツチグモなど。

ヨツスジトラカミキリは、現地で「キイロトラカミキリ...だったかな。トラカミキリまでは間違いないがキイロは自信なし」と言っていたもので、やっぱり「キイロ」が間違っていました...すみません。

ツマキシヤチホコは現地で「ハマキガ???『キ』がついた気がするが名前が出てこない...」と言っていたもので、以前に幼虫・成虫とも見ていたのですが、名前が出てこず。。家に帰ったら思い出しました。ツマキの「キ」が脳にこびりついていていたものかと。。(ほんま@生き物係)

〔行事予定〕 2011/8/19~20(金土)

富士山新五合目バスハイク・田貫湖周辺
(申し込みされた方のみ・申し込みが必要です)

項 目	説 明
集 合	京王線調布駅北口西友横の歩道。駅から150mくらいです。 7時20分厳守(7時半に出発します)
行く先	19日 富士山新五合目／一泊 20日 田貫湖周辺
料 金	当日の参加費：別途連絡
見所 その他	亜高山の植物、湿原植物

〔行事予定〕 2011/9/3（土） 長沼公園

項 目	説 明
集 合	am10時、京王線長沼駅・改札口付近 ※会旗目標 長沼駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線京王八王子行きまたは高尾山口行きをご利用下さい 長沼駅には、急行、準特急、特急は停まりません。快速、各駅停車 をご利用下さい 急行、準特急、特急をご利用のときは、高幡不動でお乗り換え下さい
行く先 (解散場所)	長沼公園内観察、pm3時半頃解散予定
見所 その他	樹木ほか
地 図	
コース	長沼駅→長沼公園入り口→西尾根の道→頂上園地（昼食・トイレ） →平山口→霧降の道→長泉寺尾根→長沼駅（解散：pm3時半頃）

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円